

私たち女性局が取りまとめた政策提言案です。自民党は以下の政策を掲げて実行していく予定です。

出産前や子育て中の母親が孤立しないよう、「マタニティサポート・ビフォー&アフター」と称し、子育て・親育ち・家族育ちを支える制度を整えます。

また、子育て家庭を支えるための地域社会の体制を強化し、乳幼児のみならず子供が自立するまでの地域社会の養育環境を整備します。

出産前や子育て中の母親が孤立しないよう環境を整備します。

- 出産後早期に、医学的な健診機会を提供するほか、保健師・助産師が訪問する制度を導入するなど、産後の母親に対するケア体制を整備・拡充します。
- 妊娠中から出産・子育てを通して利用できる公的な相談窓口を整備します。
- 病児・病後児保育や一時預かり保育、地域子育てセンターやファミリーサポートセンターの拡充など、保育メニューを充実させます。
- 待機児童を解消します。
- 学童保育など放課後児童クラブの整備やサービスの充実のために公的支援を拡充します。
- 5歳児検診の実施など、従来からある乳幼児検診を拡充し、発達障害などを早期に発見できる体制を整備します。

家族が笑顔で育児できる環境を整備します。

- 産休・育休明けの母親が職場復帰しやすい環境を整備します。
- 祖父母などの子育て経験者が子育てを家族を支える制度を整備します。
- 多世代同居を促進します。
- パパママ教室を充実し、出産前に命の大切さや成長発達を学ぶ機会を設けます。
- 「8819」運動を推進します。
- 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進します。

子供の虐待を早期発見するために地域や社会による取組みを加速させます。

- 児童虐待専門のホットラインを設け、適切な担当者を確保することを義務付けます。
- 要保護児童対策地域協議会が有効に機能するよう、医療機関や警察が連携して取組む仕組みを作ります。
- 子供たちを取り巻く医療職を対象に、早期発見のための研修を実施します。
- 児童虐待の実態をより正確に把握し、解決に向けて必要な法整備を積極的に進めます。
- 子供の虐待を防ぐための啓蒙活動を、積極的に展開します。

虐待された子供たちに笑顔を取り戻します。

- 児童養護施設等で育った子供たちの自立を可能にするために、18歳以降の就業や生活支援の制度を充実させます。
- 子供たちが家庭的な雰囲気の中で生活し、多世代間の交流や地域交流が出来るよう児童相談所や児童養護施設などの機能を拡充し、必要な法整備を進めます。
- グループホームや里親制度を推進するなど、虐待した親や虐待された子供に対するアフターケアを整備・拡充します。



児童虐待、子育てに関する相談窓口

児童相談所
全国共通ダイヤル

0570-064-000

(最寄りの児童相談所につながります) ※24時間つながります。

●県内の児童相談所

愛知県	中央児童・障害者相談センター	052-961-7250
	一宮児童相談センター	0586-45-1558
	春日井児童相談センター	0568-88-7501
	海部児童・障害者相談センター	0567-25-8118
	知多児童・障害者相談センター	0569-22-3939
	西三河児童・障害者相談センター	0564-27-2779
	刈谷児童相談センター	0566-22-7111
	豊田加茂児童・障害者相談センター	0565-33-2211
名古屋市	新城設楽児童・障害者相談センター	0536-23-7366
	東三河児童・障害者相談センター	0532-54-6465
	中央児童相談所	052-757-6111
西部児童相談所	052-365-3231	

●その他子どもと子育てに関する相談窓口

愛知県	365日子ども・家庭110番	052-953-4152 (9時~17時)
名古屋市	子ども虐待電話相談「なごやっ子SOS」	052-761-4152 (平日9時~16時30分)
	休日・夜間子ども虐待電話相談	052-823-8349 (24時間365日)

●お住まいの各市区町村の児童福祉担当課でも相談、お問い合わせください。



知ってください、
オレンジリボン運動を

オレンジリボン運動とは、「子ども虐待防止」の象徴として「オレンジリボン」を広める市民活動です。「オレンジリボン」には、子ども虐待の現状を広く知らせ、子ども虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるように、という気持ちをこめています。

2004年9月、栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ入れられて亡くなる事件が起きました。その事件をきっかけに小山市の「カンガルーOYAMA」が、子どもへの虐待防止を目指して、2005年にオレンジリボンキャンペーンを始めました。

～二度とこのような悲劇が起こらないようにという願いから～

NPO法人「里親子支援のアン基金プロジェクト」がその活動に協力し、大きく育てました。2006年からは、児童虐待防止全国ネットワークが総合窓口を担い、全国的にオレンジリボン運動として活動を広げています。